

学力・体力・生活意識調査を活用した専門的な課題分析について

1 学力・体力・生活意識調査を活用した専門的な課題分析の経緯

(1) 横須賀市の学力・体力の状況について

本市では、平成 25 年度より市独自の学習状況調査を実施し、子どもたちの学習状況について把握するとともに、各学校において、自校の子どもたちの課題を明確にし、その課題解決のための手立てに取り組むことで、学力向上を図ってきました。平成 27 年度については、小学校 3 年生、4 年生、5 年生、中学校 1 年生、2 年生を対象とし、全国学力・学習状況調査と併せて、各学年の学習状況を捉えることができています。

その中で、横須賀市の学習状況については、全国平均と大きく差があり、継続した取組を行う中で、各学校における成果は見られるものの、市全体の状況については、いまだ課題があります。

また、体力についても毎年実施している新体力テストの結果からは、各学年において全国との差が開いており、課題が見られます。

(2) 本課題分析の目的

前述のように、本市の学力・体力の課題に対しては、調査結果から、各学校において課題を明らかにし、その課題解決に取り組み、いわゆる学力向上の P D C A サイクルを確立することによって学力向上等を図ってきました。一方で、本市の課題は根深く、学力向上、体力向上に向けた多角的な視点から取組につなげていくことが必要であると考えます。

そうした経緯から、本調査分析は、教育委員会として、学力・体力・生活意識の相関を見ることで、学力・体力に強く影響する要素を明らかにし、学力向上、体力向上に資するものを多角的に捉え、市内学校の指導改善及び教育行政の施策に役立てることを目的としております。

(3) 本課題分析にあたって

本分析では、多角的な視点から学力向上、体力向上を図るため、小学校 3 年生から中学校 3 年生までの全児童生徒に先行研究を参考にした生活意識調査を実施しています。また、学力・体力・生活意識調査の 3 つのデータについて、専門的に相関分析を行う必要性から、分析にあたっては、業者をプロポーザルにて選定し、業者決定後、分析方法について複数回分析会議を行い、分析の方向性について検討しました。

本報告では、分析結果については、委託業者が作成し、考察、今後の方向性については、委託業者と教育委員会事務局にて作成しました。

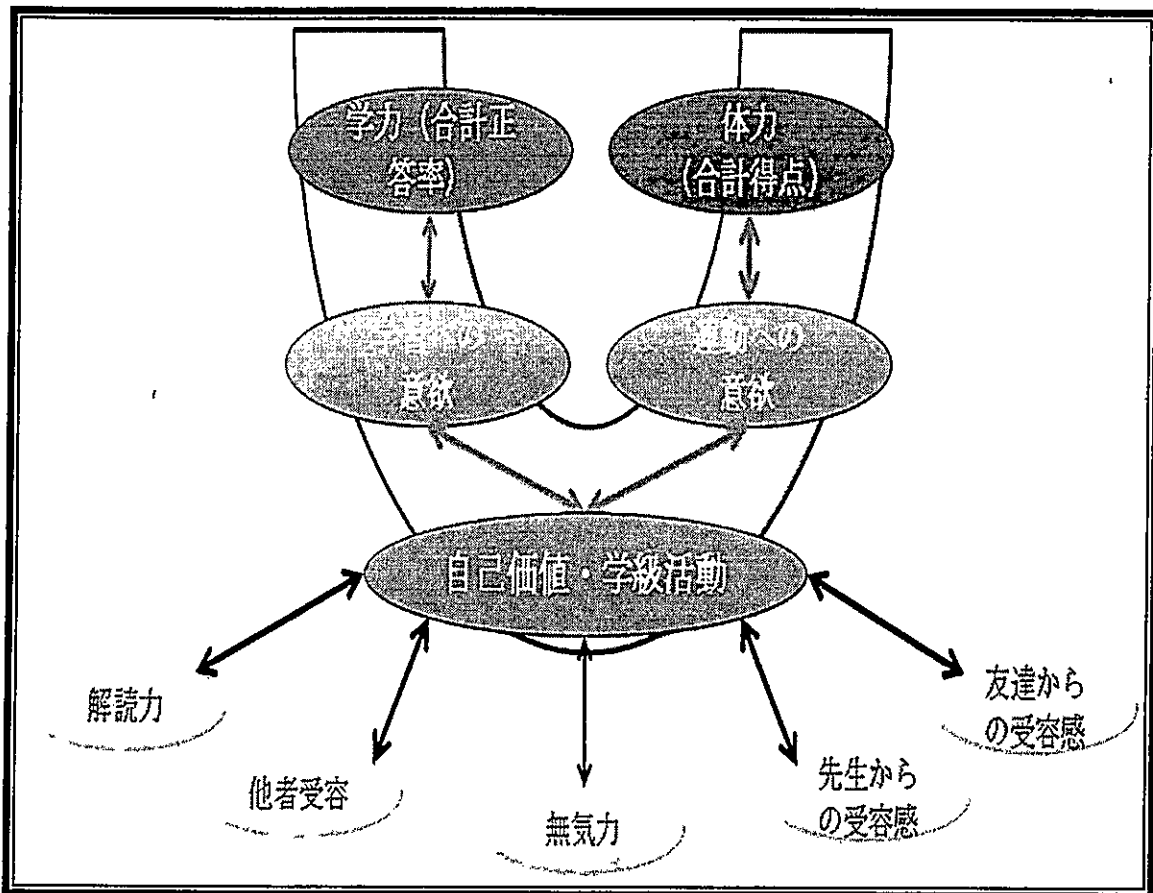
2 分析結果の概要

(1) 学力・体力・生活意識との相関

次のような相関が明らかとなりました。

- ・ 学力と相関が高かったのは、「学習意欲」であることが明らかとなった。
- ・ 体力と相関が高かったのは、「運動への意欲」であることが明らかとなった。
- ・ 「学習意欲」「運動への意欲」に相関が高かったのは、「学級活動」「自己価値」であることが明らかとなった。
- ・ また、「学級活動」「自己価値」と、「読解力」「受容感」、「他者受容」とは正の相関があり、「無気力」とは負の相関があった。

【相関図】



(2) 「学習／運動への意欲」と関連がある生活意識調査の項目

C17_自分に、自信がありますか
C18_たいていのことは、人よりうまくできると思いますか
C19_自分には、人に自慢するところがたくさんあると思いますか
C21_自分はきっと、えらい人になれると思いますか
C22_自分の意見は、自信をもって言えますか
C20_今の自分に、まんぞくしていますか

自己価値

F35_学級の人たちは、協力的で助け合っていると思いますか
F37_学級はみんなで決めた学級のめあてを守っていますか
F41_学級ではみんな助け合って勉強していますか
F42_学級では友達がこまっているときには助け合いますか
F40_学級会での話し合いはうまくいっていると思いますか
F36_学級のみんなはそうじを一生けんめいしていますか
F38_学級の日直や係の仕事をみんな一生けんめいしますか
F39_学級会では意見を出しやすいですか

学級活動

3 分析結果をもとにした仮説

☆学習への意欲、運動への意欲を高めれば、学力（合計正答率）と体力（合計得点）を高めることにつながるであろう。

☆学級活動に視点をおき、充実した学級集団を作れば、学習への意欲、運動への意欲が高まるであろう。

☆子ども達が自己価値を高める取組（自尊感情の高揚等）をすれば、学習への意欲、運動への意欲が高まるであろう。

4 今後の取組

(1) 分析結果の学校への周知

- ・市立学校長会議や学力向上担当者会等における周知
- ・学校周知用リーフレット等の作成・配布

(2) 分析結果の活用

- ・仮説をもとにした「指導の重点2」における取組への活用
- ・フロンティア研究委託校における研究への活用
- ・学級経営に係る調査・研究への活用